



「刈田」それは晩秋を表す美しい日本語  
～「半端ない」って使っていませんか？R3 国語世論調査より～

校長 澤田 純一

「待ちかねて雁の下りたる刈田かな」これは、小林一茶の句です。この句には稲を刈り取ったあとの、刈り株だけが整然と並ぶ光景から、一年の仕事を終えた農家の充実感が感じられるとともに、また寂しくもあるという気持ちが込められています。このように昔の人たちが、いろいろな思いを込めて作り出した数多くの美しい日本語があるのですが、言葉や慣用句の使い方を誤解している人の割合の多いことが国語世論調査にて指摘されていました。ここでは、そのなかから、ほんのちょっと拾いあつめてみました。

まずは、簡単なテストです。以下のア、イのうち正しいほうに○を付けてください。

① 揚げ足を取る

ア 言い間違いや言葉尻をとらえて責めたりからかったりする。

イ 失敗ややり損ないを見て責めたりからかったりする。

② 姑息

ア 「一時しのぎ」という意味。

イ 「卑怯な」という意味。

③ 割愛する

ア 惜しいと思うものを手放す。

イ 不必要なものを切り捨てる。

また、次のような言い方をする人はいませんか？

④ 「中途半端でない」ということを、「半端ない」という。

⑤ 「そうではなくて」ということを「ちがくて」という。

⑥ 「正直なところまずい」ということを「ぶっちゃけまずい」という。


いかがですか。皆さんはこのような使い方をしていませんか？日本語の言葉遣いは本当に難しいと思います。時代とともに新しい言葉が生まれることもあります。そして、使われ方が変わることもあります。しかし、正しい日本語、美しい日本語は大切な文化の一つとしてしっかり身に着け、適切に使えるようにしてほしいと願います。

本校では11月を「心を潤す4つの言葉」推進月間としています。「おはようございます」「ありがとうございます」「はい」「ごめんなさい」をポスターとして掲示しますので、この4つの言葉を皆さんも積極的に、きれいに使ってください。明るく前向きな言葉遣いや温かい言葉遣いは、皆さんの心身ともに健康な成長を促すことに不可欠な要素なのです。それが証拠に、皆さんがレイボックホールで奏でた歌声、メッセージには美しい日本語が溢れ多くの人を感動させました。言葉、態度、表現どれをとっても人間の成長には大切なものなのです。

ここは天下の東中。言語環境を整えていきましょうね。

今日の話はこれでおしまい。体調管理をしっかり行い、元気に過ごしてくださいね。

(①②③の正答は、すべて ア です。)

 「ワンチャン、間に合うかも」ではなく「もしかして、間に合うかも」だよ！